

# 12 農 林

## 1 土地利用計画

昭和 46 年 9 月 30 日に農業振興地域の指定を受け、昭和 47 年 3 月 9 日に松本農業振興地域整備計画が認可となりました。これにより、農用地区域とその他の区域の土地利用が明確化され、優良農地の確保と適正な土地利用を図っています。

(1) 都市計画 (平成 29 年 3 月 31 日現在 単位:ha)

松本市総面積 97,847		
都市計画区域 30,191		都市計画区域外 67,656
市街化区域 4,008	市街化調整区域 26,183	

(2) 農業振興地域 (平成 29 年 3 月 31 日現在 単位:ha)

松本市総面積 97,847		
農業振興地域 24,916		農業振興地域外 72,931
農用地区域 7,525	農用地区域外 17,391	

(3) 農業振興地域の農用地区域内訳 (平成 29 年 3 月 31 日現在 単位:ha)

農用地区域 7,525						
農 地 6,528			採草放牧地 349	混木林地 420	農業用施 設用地 59	混牧林地以外 の山林原野 169
田 4,519	畑 860	樹園地 1,149				

## 2 農家戸数

(単位:戸)

年 月 日	総農家数	専業農家	第 1 種兼業	第 2 種兼業
H17. 2. 1	総農家 7,908	—	—	—
	販売農家 4,827	894(18.5%)	641(13.3%)	3,292(68.2%)
H22. 2. 1	総農家 7,984	—	—	—
	販売農家 4,530	1,187(26.2%)	525(11.6%)	2,818(62.2%)
H27. 2. 1	総農家 7,156	—	—	—
	販売農家 3,787	1,201(31.7%)	517(13.7%)	2,069(54.6%)

(資料 農林業センサス)

平成 27 年経営耕地面積規模別農家(販売農家)数

(単位:戸)

0.3 ha 未満	0.3 ha } 0.5 ha	0.5 ha } 1.0 ha	1.0 ha } 1.5 ha	1.5 ha } 2.0 ha	2.0 ha } 3.0 ha	3.0 ha 以上	合 計
71	920	1,420	585	298	251	242	3,787

(資料 農林業センサス)

### 3 経営耕地面積(販売農家)

(単位：ha)

年 月 日	経営耕地	田	畑	樹園地
H17.2.1	5,016	3,409	734	873
H22.2.1	5,290	3,388	953	949
H27.2.1	4,822	3,071	852	898

(資料 農林業センサス)

地区別の面積は ha 未満を四捨五入しているため、合計と必ずしも一致しません。

### 4 経営所得安定対策

国は、農業者の経営安定及び食料自給率の向上と農業の多面的機能の維持を図るため、「経営所得安定対策」を実施しています。

本市でも国の政策に基づき、制度の基盤である米の生産数量目標に係る取組みを行っています。

水稲作付状況

区 分 \ 年 度	27	28	29
米生産数量目標 (t)	17,759	17,576	17,390
米作付目標面積 (ha)	2,741	2,712	2,671
米作付確定面積 (ha)	2,731	2,701	2,667
実 施 率 (%)	99.6	99.6	99.9

### 5 農業生産振興事業

#### (1) 産地パワーアップ事業

##### ア 経過及び現状

意欲ある農業者等が高収益な作物、栽培体系へ転換を図るため、国の交付金事業として「産地パワーアップ事業」が平成28年1月に新たに制定されました。

これは、水田、畑作、野菜、果樹等の全ての農産物を対象とした産地が、地域の営農戦略として「産地パワーアップ計画」を定め、地域が自ら定めた具体的な成果目標の達成に向けた取組みを総合的に支援するものです。

平成28年度から、地域の意向を取りまとめ「産地パワーアップ計画」に位置づけ、本事業に取り組んでいます。

##### イ 事業内容及び実績

実施年度	28～29
取組主体	県、市、公社、土地改良区、農業者、農業者の組織する団体、民間事業者
事業内容	整備事業、生産支援事業、効果増進事業

ウ 採択要件

松本市農業再生協議会が作成する「産地パワーアップ計画」に位置づける必要があります。

また、生産・出荷コストを 10%以上低減する、販売額を 10%以上向上する等を成果目標とする必要があります。

## 6 土地改良事業（県営・団体営）

### (1) ほ場整備等

優良農地を計画的に整備保全して、農用地の有効利用及び農作業の省力化と農作物の安定生産の向上を図るために、ほ場整備を実施しました。

事業名	地区 (カ所)	面積 (ha)		
		田	畑	合計
県営ほ場整備事業（一般型）	16	2,427.6	750.1	3,177.7
県営ほ場整備事業（担い手型）	2	170.8	14.8	185.6
県営緑農住区開発関連土地基盤整備事業	2	100.8	1.7	102.5
県営土地改良総合整備事業	12	874.0	264.5	1,138.5
団体営土地改良事業	73	1,085.7	451.9	1,537.6
計	105	4,658.9	1,483.0	6,141.9

### (2) 農道整備

広域農道、幹線農道、一般農道を中心として、新設、改良による整備を進めてきました。

広域農道については、2市1町2村の広域的営農団地を有機的に結ぶ幹線として、平成2年度に完成し、東山山麓農免道路は昭和63年度に完成しました。

また、入山辺地区において実施していました農業用道路整備は、平成26年度に完成しました。

#### 農道整備事業

実施事業名	数量	施行年度	備考
非補助農道第一次計画	8 路線	S41～46	旧松本市
農林漁業用揮発税財源見替農道	3 路線	S41～63	旧松本市
野菜農道	1 路線	S42～44	旧松本市
非補助農道第二次計画	20 路線	S47～51	旧松本市
生活農道整備計画	4 路線	S50～58	旧松本市
松塩地区広域営農団地農道	1 路線	S50～H2	2市1町2村（旧松本市）
非補助農道第三次計画	14 路線	S58～H9	旧松本市
団体営農道整備事業	7 路線	S58～H7	旧松本市
県営農道整備事業	103 路線	H7～13	奈川地区
県営農道整備事業	2 路線	H元～7	波田地区
合 計	253 路線		

### (3) 用排水施設整備

安定した用水確保と維持管理の軽減により、農業生産性向上を図るために、老朽化した農業用水路施設の整備を進めています。

近年の整備状況

事業名	地区	事業主体	全 体 計 画		施行期間
			事 業 概 要	事業費(千円)	
水田農業確立排水対策特別事業	里山辺	長野県	排水路整備 L=749m	233,600	H12～H16
かんがい排水事業	安曇野	長野県	農業用排水路整備 L=25,298m	7,823,990	H7～H22
	四ヶ堰		農業用用水路整備 L=1,370m	377,240	H14～H22
	四ヶ堰2期		農業用用水路整備 L=1,540m	233,880	H22～H28
	梓川右岸		排水路整備 L=3,152m	3,105,000	H24～H35
	鎖川		頭首工 2箇所	155,000	H29～H32
	二区堰		排水路整備 L=1,065m	202,000	H29～H33
地域農業水利施設ストックマネジメント事業	寿	寿土地改良区	深井戸施設新設 1基 配電施設 送水管整備	34,400	H22
基幹水利施設ストックマネジメント事業	和田堰	長野県	余水吐、分水ゲート更新	55,000	H24～H27
地域用水環境整備事業	波田堰	長野県	小水力発電施設整備 1基	68,000	H23～H26
	梓川右岸幹線		小水力発電施設整備 5基	500,000	H27～H29
国営広域用排水路整備事業	安曇野	梓川土地改良区	農業用排水路整備 L=31,541m 水管理施設(水門等) 90カ所 監視所(RC造) 1棟 469㎡	23,569,480	H5～H17
国営農業水利事業	中信平2期	農林水産省	梓川頭首工 最大取水量 52.186 m <sup>3</sup> /s 堤高 H=4.0m 堤長 L=49.6m 農業用幹線用水路整備 L=28,500m 小水力発電所 1カ所 最大出力 499kw 水門等遠隔操作監視システム 一式	16,328,000	H17～H26
県営ため池等整備事業	勘左衛門堰	長野県	用水路整備	899,100	H12～21
	美鈴湖		トンネル再構築 L=111m	107,947	H18～22
	棒小屋堰		排水樋管 L=14.4m	14,420	H21～24
特定農業用管水路等特別対策事業	笹賀南部	長野県	畑かん施設(更新)整備 L=1,950m	160,660	H22～H27
	幹線北耕地		畑かん施設(更新)整備 L=1,080m	60,000	H27～H29
農村地域防災減災事業	岡田本郷	長野県	堤体改修 2池	115,000	H27～H30
	神沢池		堤体改修	307,000	H28～H31
	田溝池		堤体改修	209,000	H29～H33

(4) 農業農村整備

食料需給の動向に応え、農業と農村の健全な発展と、都市にも開かれた水・土・里の豊かな生き生きとした暮らしを創出するために、農業の生産基盤と農村の生活環境の一体的な整備、及び農地や施設等の保全管理を行っています。

事業名	地区	事業主体	全 体 計 画		施行期間
			事 業 概 要	事業費(千円)	
農村総合整備モデル事業	松本西部	松本市	農業用排水施設 L=2,789m 農道整備 L=6,438m 集落道整備 L=5,357m 農業集落排水施設 L=8,276m 集落防災安全施設 22カ所 農村環境改善センター 2棟 農村公園施設整備 6カ所	1,409,970	S52～H 3
	梓川	梓川村	ほ場整備 A=15.3ha 農業用排水施設 L=1,382m 農道整備 L=2,464m 集落道整備 L=13,065m 農村環境改善センター 1棟 農村公園施設整備 7カ所 集落防災安全施設 35カ所	1,492,600	S49～S60
	波田	波田町	ほ場整備 A=3.6ha 農業用排水施設 L=574m 農道整備 L=1,411m 集落道整備 L=3,735m 農業集落排水施設(処理無) 17路線 農業集落排水施設(処理有) 1系統 集落防災安全施設 2カ所 農村公園施設整備 1カ所	1,165,000	S56～H 6
集落環境整備事業	松本北部	松本市	農業用排水施設 L=487m 農道整備 L=1,408m 集落道整備 L=2,562m 農業集落排水施設 L=1,434m 農村公園緑地整備 1カ所 集落防災安全施設 3カ所	688,614	H 5～H 8
農村総合整備事業	松本南部	松本市	ほ場整備 A=0.3ha 農業用排水施設 L=2,692m 農道整備 L=3,948m 集落道整備 L=3,446m 農業集落排水施設 L=685m 農村公園緑化施設 1カ所 集落防災安全施設 12カ所 集落緑化施設 A=8,600 m <sup>2</sup> 景観保全整備 5カ所	1,325,000	H 9～H13

	上野	梓川村	農業用排水施設 L=4,259m 農道整備 L=2,346m 集落道整備 L=201m 農村公園緑地整備 1カ所 集落防災安全施設 13カ所 集落緑化施設 A=2,300㎡ 景観保全整備 3カ所	644,000	H11～H15
農村総合整備統合補助事業	岡田本郷	松本市	ほ場整備 A=2.3ha 農業用排水施設 L=1,400m 農道整備 L=3,960m 集落道整備 L=1,970m 農村公園緑地整備 1カ所 集落防災安全施設 5カ所 集落緑化施設 2カ所	1,267,452	H14～H20
農山漁村活性化プロジェクト支援交付金	入山辺	松本市	農道整備 L=1,800m	515,000	H19～H26
	扇子田	波田町	基盤整備(農業用排水施設) L=1,921m	44,300	H20～H21
農業体質強化基盤整備促進事業	梓川里山辺和田神林	松本市	農業用排水路施設 L=208m (梓川・里山辺) 農地保全整備(防砂林工) L=534m (和田) 農道整備 L=438m(里山辺・神林)	49,390	H24～H25
県営畑地帯総合整備事業	山辺	長野県	畑地かんがい施設(更新) A=59ha 農道整備 L=3,650m	1,589,186	H12～H23
	岩垂原		畑地かんがい施設(更新) A=440ha 農道整備 幹線(1路線) L=2,220m 支線(40路線) L=25,930m	3,401,340	H12～H24
	下原		畑地かんがい施設(更新) A=123ha 農道整備 L=4,631m	935,020	H22～H28
	北耕地		畑地かんがい施設(更新) A=35.4ha	294,000	H26～H30
	中下原平林		畑地かんがい施設(更新) A=130ha 農道整備 L=1,160m 排水路整備 L=3,880m 農地改良 A=5ha	1,660,000	H27～H32
	古池原		畑地かんがい施設(更新) A=80ha 農道整備 L=500m	805,000	H28～H33

## 7 多面的機能支払交付金事業

農業農村は、国土保全、水源かん養、景観形成等多面的機能を有していますが、近年、高齢化や人口減少等により地域の共同活動で支えられていたそれらの機能を維持していくことが困難になってきています。そこで、多面的機能を将来にわたって維持していくため、新たに地域の共同活動に対して支援をするものです。

(1) 事業内容

ア 農地維持支払（地域資源の基礎的な保全活動）

田 3,000 円/10 a、畑 2,000 円/10 a、草地 240 円/10 a

イ 資源向上支払（地域資源の質的向上を図る共同活動）

田 2,400 円/10 a、畑 1,440 円/10 a、草地 240 円/10 a

なお、「施設の長寿命化」と一緒に取り組む場合、または、採択後 5 年経過した組織については、交付金額が 75%以内となります。また、「多面的機能の増進を図る活動」に取り組まない場合は、6 分の 5 単価となります。

ウ 資源向上支払（施設の長寿命化のための活動）

田 4,400 円/10 a、畑 2,000 円/10 a、草地 400 円/10 a

上記交付金を国、県、市が負担し、市から活動組織に対して交付します。（費用負担 国 1/2、県 1/4、市 1/4）

なお、活動組織による直営施工を実施しない場合は、6 分の 5 単価となります。

(2) 事業期間

5 年間の協定期間

(3) 事業実績（平成 29 年度）

農地維持支払

区分	交付金対象面積 (ha)	交付金額 (円)	市負担額 (円)
52 地区	田 2,835.38、畑 1,132.75、草地 12.27 計 3,980.40	107,378,468	26,844,617

資源向上支払（共同活動）

区分	交付金対象面積 (ha)	交付金額 (円)	市負担額 (円)
32 地区	田 1,659.70、畑 211.76、草地 2.65 計 1,874.11	34,439,564	8,609,891

資源向上支払（長寿命化）

区分	交付金対象面積 (ha)	交付金額 (円)	市負担額 (円)
32 地区	田 2,062.67、畑 1,102.43、草地 12.06 計 3,177.16	111,997,160	27,999,290

## 8 農業集落排水事業・小規模集合排水処理事業

農業集落におけるし尿、家庭雑排水等を処理する施設を整備し、農村の生活環境を改善し快適な生活と公共用水域の水質保全を図るため、農業集落排水事業及び小規模集合排水処理事業を実施しています。

事業内容

区 分	農業集落排水処理施設				小規模集合排水処理施設
	寿赤木	大野田	島々	稲核	野沢
管路 (m)	4,836	2,257	3,066	2,018	139
計画人口 (人)	540	590	810	520	70





奨励金の額(10a 当たり)

区分		契約期間	1年以上 (円)
借り手	認定農業者		3,000

実績 (借り手のみ)

年度	区 分	計		
		対象者 (人)	面積 (ha)	金額 (千円)
27	認定農業者	371	1,577.78	47,205
	認定農業者以外	753	446.78	4,454
	計	1,124	2,024.56	51,659
28	認定農業者	385	1,720.90	51,510
29	認定農業者	371	1,817.20	54,516

## 12 6次産業化支援事業

本市独自の支援措置を講じて6次産業化を推進し、産業力の向上及び地域活性化と農業者所得の増加を図ります(平成30年度から補助対象経費等を見直し)。

- (1) 対 象 者 農地所有適格法人、農業者で組織する団体、農産物直売所、松本市地産地消推進の店
- (2) 事業概要 加工・流通・販売などに取組む農業サイド主導の6次産業化の定着促進に向け、人材育成、商品開発、販路開拓等の事業に補助をします。
- (3) 支援事業

補助区分	補 助 対 象 経 費	補 助 率	補助限度額等 (千円)
人材育成	販売、加工及び経営の強化並びに技術の向上に関する研修会への参加に要する経費(受講料、旅費)	2分の1	25
商品開発	新たな商品開発に要する経費(研究開発を伴うモニタリング費又はパッケージ開発費)	2分の1	1,000
販路開拓	県外及び海外における販路開拓のための物産展への出展及び直売所交流に要する経費(出展負担金、輸送費・旅費・装飾備品借上料・筆耕翻訳料(以下「輸送費・旅費等」という。))	物産展出展経費 10分の10 輸送費・旅費等 2分の1	国内 250 海外 500
利子補給	施設整備に係る借入金に対する利子及び信用保証料。ただし、新たな商品開発に伴う施設整備に係るものに限る。	利子 2分の1 信用保証料 5分の4	利子補給期間 60カ月以内

## 13 新規就農者育成対策事業

担い手の減少及び高齢化、生産量の減少、農地の遊休化等を防止するため、意欲ある新規の就農希望者に対して実践的な研修を実施し、時代の変化に対応できる農業経営者の育成を平成 13 年度から行っています。

- (1) 事業主体 松本ハイランド農業協同組合
- (2) 運営主体 (有)アグリランド松本
- (3) 研修作物 りんご、ぶどう、野菜、すいか、花き等
- (4) 研修期間 3 年間
- (5) 研修生の状況

第 1 期生(平成 13 年 11 月～)	6 名	研修修了し就農中
第 2 期生(平成 14 年 11 月～)	4 名	研修修了し就農中
第 3 期生(平成 15 年 11 月～)	3 名	研修修了し就農中
第 4 期生(平成 16 年 11 月～)	4 名	研修修了し就農中
第 5 期生(平成 19 年 1 月～)	1 名	研修修了し就農中
第 6 期生(平成 20 年 1 月～)	1 名	研修修了し就農中
第 7 期生(平成 20 年 11 月～)	4 名	研修修了し就農中
第 8 期生(平成 21 年 11 月～)	2 名	研修修了し就農中
第 9 期生(平成 22 年 11 月～)	2 名	研修修了し就農中
第 10 期生(平成 23 年 11 月～)	2 名	研修修了し就農中
第 11 期生(平成 24 年 11 月～)	2 名	研修修了し就農中
第 12 期生(平成 25 年 11 月～)	2 名	研修修了し就農中
第 13 期生(平成 26 年 11 月～)	2 名	研修修了し就農中
第 14 期生(平成 27 年 11 月～)	1 名	
第 15 期生(平成 28 年 11 月～)	1 名	
第 16 期生(平成 29 年 11 月～)	2 名	

研修生受入 43 名

I ターン 17 世帯 (51 名転入)、U ターン 7 世帯 (16 名転入)

就農者のうち 9 名が認定農業者

## 14 農業次世代人材投資事業 (旧青年就農給付金事業)

青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、経営開始直後で経営が不安定な青年新規就農者に対して給付金を支給しています。

- (1) 対象者 農業経営を主宰する青年新規就農者で、就農地区の人農地プランに中心となる経営体として位置付けられた方
- (2) 給付額 1 人当たり 1,500 千円/年 (半年毎に 750 千円を支給)
- (3) 給付期間 最長 5 年間

(4) 実績

年度	件数	支給額（千円）
27	21	28,500
28	20	29,592
29	24	30,737

## 15 松本熟年農業大学

農地の遊休化防止、熟年者の生きがい対策及び補完的農業労働力の確保育成のため平成 13 年度から実施しています。

- (1) 事業主体 松本ハイランド農業協同組合
- (2) 研修方法 月に数回の講義と栽培実習により、栽培技術を習得
- (3) 研修期間 10 カ月
- (4) 受講生 16 名（平成 29 年度実績）

## 16 松本市未来を担う農業経営者支援事業

意欲ある農業の担い手を育成するため、経営規模拡大や効率的な経営を目指す認定農業者に対して、農業機械等のリース及び取得費用の一部を補助するものです。また、女性農業者の育成を図るため、女性農業者が行う実践的な活動に要する費用の一部を補助するものです。

- (1) 対象者 市内で農業経営を営む者で、市から農業経営改善計画の認定を受けた者等
- (2) 補助対象 農業経営改善計画の達成に必用な機械施設等  
1件500千円以上の農業機械等リース及び取得  
女性農業者が行う実践的な活動

(3) 補助率

- ア リース及び取得事業 取得価格の1/3以内、上限2,000千円
- イ 女性農業者支援事業 ソフト事業 上限100千円（補助率10/10）  
ハード事業 上限200千円（事業費の2/3以内）

事業実績

年度	導入機械・施設	件数	事業費（千円）	補助金（千円）
29	コンバイン	1	8,014	2,000
	トラクター	6	42,802	11,440
	スピードスプレイヤー	3	15,714	5,218
	穀物乾燥調製設備	1	2,080	693
	乗用草刈機（モア）	3	2,428	808
	田植機	2	9,371	3,123
	サイバーハロー	1	1,050	350

	畔塗り機	1	825	275
	バルククーラー (牛乳冷却器)	1	3,402	1,134
	ラッピングマシーン	1	1,890	630
	コミュニケーション講座	1	86	86
	仮設トイレ	2	590	392
	草刈機	2	108	72
	充電式剪定ばさみ	1	150	100
	計	26	88,510	26,321

## 17 新規就農者支援事業

新規就農者が農業経営の開始又は経営の効率化を行うために導入する農業機械及び農業用施設の取得費用の一部を助成し、農業への定着促進を図りました。

- (1) 実施期間 平成 22～30 年度
- (2) 補助対象 取得価格 500 千円以上の機械、施設の導入
- (3) 補助率 1/2 以内 (上限 500 千円)

### 3 カ年度実績

年度	導入機械・施設	件数	事業費 (千円)	補助金 (千円)
27	中古乗用モア	1	518	259
	農業用軽トラック	1	1,170	500
	ハウス加温機	1	755	377
	農業用トラクター	1	1,200	364
	草刈機モア	1	1,081	500
	計	5	4,724	2,000
28	乗用草刈り機	3	2,565	1,268
	農業用軽トラック	2	1,930	965
	食品乾燥機	1	674	337
	育苗用ハウス	1	600	300
	計	7	5,769	2,870
29	育苗用ビニールハウス	2	1,150	925
	果樹用高所作業車	1	1,100	500
	農業用トラクター	1	2,150	500
	管理機平高うね整形同時マルチセットほか	1	738	369
	ネギ根葉切り皮むき機一式	1	1,208	500
	計	6	6,346	2,794

## 18 鳥獣被害対策事業

### (1) 目的

野生鳥獣による農林業への被害を減少させるため、猟友会による「駆除」、侵入防護柵の設置による「防除」、人と野生鳥獣との住み分けをするための「生息環境管理」を3本柱として総合的な対策を進めています。

### (2) 平成29年度の実績

#### ア 駆除対策事業

##### (ア) 個体数調整と有害鳥獣駆除の実施

有害鳥獣駆除 ニホンジカ他獣類 2,557頭  
カラス他鳥類 3,882羽

##### (イ) 捕獲従事者を確保するため新規銃猟者に対して支援 2名

##### (ウ) 集落等捕獲隊の組織化による、地域ぐるみでの捕獲体制の推進

中山18名、入山辺50名、四賀45名

##### (エ) 鳥獣被害対策実施隊による駆除体制の強化

#### イ 被害防除事業

##### (ア) 鳥獣被害防護柵補修

市と住民が協働形式で設置してきた防護柵が、自然災害等により破損したため、地区住民に補修する資材を提供し、補修作業の妨げとなる支障木を撤去しました。

##### a 補修資材の提供

21団体に1,225千円の資材費を支給

##### b 倒木撤去委託費

15団体に2,220千円の撤去委託

## 19 地域営農リーダー育成事業

食の安全に基づいた豊かで安定した21世紀型農業の確立を目指し、地域農業・農村の活性化を図るため、将来の地域営農リーダーとなり得る資質の習得を目的に、平成5年度から「松本新興塾」を開塾し、平成30年3月に第10期が卒塾しました。

### (1) 運営 松本地域営農リーダー育成塾実行委員会

松本市、安曇野市、山形村、松本市農業委員会、長野県、JA他

### (2) 開塾期間 1期3年間

### (3) 資格要件 JA松本ハイランド、JA松本市、JAあづみ管内の組合員及びその家族で、概ね50歳未満の者

### (4) 10期生 14名

### (5) 事業内容 1年目：基本研修(講義及び討論、研修会等)

2年目：基本研修(講義及び討論、研修会、先進地視察研修等)

3年目：課題研修(講義及び討論、研修会、先進地視察研修、卒論作成等)

### (6) 卒塾生 182名(第1～10期)

## 20 農畜産物マーケティング推進事業

食の安全、安心について消費者の関心は高まっており、健康づくり等の観点から農畜産物の栄養成分や機能性が着目されています。そこで、地産地消の推進や大消費地における消費宣伝活動を実施するとともに、本市で生産される野菜等の機能性等に着目したブランド化に取り組んでいます。

### (1) 地産地消の推進

松本市地産地消推進会議(委員：20名、会長：茂木信太郎亜細亜大学経営学部教授)を平成16年10月に設置し、本市で生産される農産物の地元消費を増やす仕組みづくりを協議してきました。

推進会議での協議内容をもとに、市は平成18年1月に松本市地産地消推進計画を策定しました。現在、推進会議の意見を聞きながら、次の具体的施策に取り組んでいます。

#### ア 地産地消食育推進事業

独自のアイデア・方法により、学校給食(小中学校・幼稚園・保育園)で使用する地元生産の食材を教材として、農業体験や加工体験などの食育活動及び学校給食への食材提供を行う事業主体に対して支援・助成しています。

平成29年度は13事業主体が農業体験の場を提供しました。

- (ア) 事業主体 市内農業者、生産団体、農業者を構成員とし農産物加工を行う団体、市内に本社または支社を置き、地場農産物を原料に食品製造等を行う法人
- (イ) 補助率 補助対象経費の1/2(ただし、上限500千円(平成30年度から))

#### イ 家族団らん手づくり料理を楽しむ日

松本市では、国が毎月19日を食育の日としたことにあわせて日常生活のなかで家族が別々に食べがちな食事をみんなでそろって、作って、食べることによって家族団らんを進め、食を考える機会にしてもらおうと「家族団らん手づくり料理を楽しむ日」に取り組んでいます。

平成26年度から日本型食生活の普及促進事業として、「おにぎりチャレンジ隊」による、米の消費促進や手づくり料理を家族で楽しめるように巡回PRをしています。

#### (ア) 取組内容

- a 広報まつもとや市公式ホームページを通じて市民に広く周知します。
- b 市内の事業所に対し、周知用のチラシや旬のカレンダーを配付します。
- c 関係課が行う各種相談、給食だより、料理教室等を通じて周知を図ります。
- d 制定されたロゴマークを活用して周知します。
- e 市職員等が市内の全小学校へ出向き、全校集会や校内放送を通して、「家族団らん手づくり料理を楽しむ日」の意義等について講話を行い、全児童に自宅で家族と調理ができる地元産農産物をプレゼントしています。(H25年度以降、隔年実施から毎年実施へ変更)
- f 日本型食生活の普及促進事業に取り組みます。
- g 家族団らんレシピを作成し、普及を図ります。

#### ウ 地産地消懇談会

地産地消について、市民に理解を深めてもらうための懇談会を開催しています。

#### エ 旬のカレンダー

地元農産物の品目や旬、あるいは食育の取組みを知っていただくため、カレンダー、クリアファイル、パンフレットなどを作成して周知を図っています。

#### オ 地場農産物フェア

量販店、JA、流通業者と協力し、松本地域の旬の農産物の消費拡大フェアを定期的実施し

ています。

#### カ 地産地消推進の店

地元で生産された農畜産物やその加工品を活用する市内の飲食店等を「松本市地産地消推進の店」として登録する制度を創設し、登録数は109店舗です。

#### (2) 地産地消アンテナショップ活用事業

J A松本ハイランドが平成27年10月に中心市街地に設置したアンテナショップを活用した地元農産物の情報発信とブランド化への取組みを引続き実施しています。

#### (3) 農畜産物のブランド化推進

##### ア 大消費地における消費宣伝活動

松本産農産物の継続的な消費拡大策として、松本を知ってもらう「信州まつもとの畑から」と銘打ったフェア等を実施し、「売れるものづくり」「信頼される産地づくり」を進めています。

(ア) 実施主体 (一社)松本農業開発センター(市及びJ A松本ハイランド、J A松本市で構成)

(イ) 内 容 ・量販店での継続的な消費拡大フェア開催  
・物産展、イベントへの参加

##### イ 農畜産物ブランド化推進事業

##### (ア) 野菜の機能性に着目したブランド化

これまで実施した成分分析等の結果を活用し、平成29年11月から松本一本ねぎの栄養機能食品表示販売を実現しました。りんご(サンふじ)については、引続き機能性表示食品化に向け調整をしています。

##### (イ) 「希少性」を切り口としたブランド化

松本一本ねぎについて、地理的表示保護制度を活用した展開について研究しています。

##### (ウ) 奈川産食材ブランド化推進事業

魅力ある奈川産食材のブランド化を図るため、奈川そばやエゴマを使った商品開発、奈川在来そばの成分分析、優良品種の系統選抜や作付け面積拡大の奨励の他、イベント等開催による販売促進も実施しています。

##### (エ) 特産品ブランド化推進事業

他にはない多彩な味と香りを持っている信州の伝統野菜である「保平蕪<sup>ほだいらかぶ</sup>」、「稲核菜<sup>いねこきな</sup>」、「番<sup>ばん</sup>所<sup>どころ</sup>きゅうり」、地域特産品の「がに豆」の優良品種の育成に向けて、系統選抜、栽培方法に対する指導等を実施して、ブランド価値を高めます。

## 21 松本市遊休荒廃農地対策事業

### (1) 事業概要

担い手の高齢化、後継者不足等により農地の遊休荒廃化が進む中で、遊休荒廃農地の解消を図り、再活用の促進を目指しています。

### (2) 事業内容

#### ア 松本市遊休荒廃農地対策事業

農地を取得又は貸借する者(団体を含む。)及びUターン就職者等が行う、遊休荒廃農地の復元及び有効利用に要する経費に対して、1a当たり2,300円から7,000円以内で補助を行います。

イ 荒廃農地等利活用促進交付金事業

国の荒廃農地等利活用促進交付金事業により耕作放棄地の再生を行う者及び施設等の補完整備を行う者に対し、事業費の1/10以内で補助を行い、耕作放棄地の解消を促進させます。

(3) 平成29年度実績

ア 中山及び梓川地区の耕作放棄地を再生

イ 再生面積 149a

## 22 健康生きがい市民農園事業

### 目的

「健康寿命延伸都市・松本」の創造に向けて農業を通じた健康・生きがいづくりを進めるとともに、農業への理解を進めます。

(1) 健康いきがい市民農園

高齢者の皆さんが歩いて通える距離にレクリエーションの感覚で自家消費野菜等の栽培に取り組める市民農園を開設し、健康と生きがいづくりを図るものです。

ア 開設場所 2カ所（高宮北、高宮中）

イ 区画 20区画（1区画約50㎡）

ウ 利用料 年額6,000円/1区画

エ 応募資格 徒歩又は自転車で農園に通える方（60歳以上の方を優先）

オ その他 農園利用者に対して作物栽培の現地指導を実施

(2) 市民農園

ア 開設場所 20カ所

イ 区画 548区画（1区画約33㎡）

ウ 利用料 年額2,000～2,400円/1区画

エ 応募資格 徒歩又は自転車で農園に通える方  
（西部農林課分）

ア 開設場所 4カ所

イ 区画 91区画（1区画約50㎡～75㎡）

ウ 利用料 年額2,800～4,500円/1区画

エ 応募資格 市内在住者

(3) 簡易オートキャンプ設備付き農園

ア 開設場所 1カ所（内田）

イ 区画 17区画（1区画約200㎡）

ウ 利用料 年額18,000円/1区画

エ その他 水道電気料実費負担

## 23 クラインガルテン事業

遊休農地の有効活用と豊かな自然、風土を守り市民等の福祉の増進を図るため、クラインガルテンを設置し、都市住民との交流を図っています。



(1) 施設の概要

地区	名 称	区画数	一区画の規模	使 用 料	契 約
四賀	坊主山 クラインガルテン	53	敷地全体 270～300 m <sup>2</sup> (内訳) 休憩小屋(建物) 38～50 m <sup>2</sup>	102,850～ 360,000 円	1 年 間 (最長 5 年)
	緑ヶ丘 クラインガルテン	78	畑 100～120 m <sup>2</sup> 他 芝生 花壇	370,280～ 504,000 円	
奈川	大原 クラインガルテン	35	敷地全体 350 m <sup>2</sup> (内訳) 休憩小屋(建物) 24～50 m <sup>2</sup> 畑 150 m <sup>2</sup>	257,140～ 390,850 円	1 年 間 (最長 5 年)
	神谷 クラインガルテン	18	敷地全体 200 m <sup>2</sup> (内訳) 休憩小屋(建物) 40～42 m <sup>2</sup>	240,000 円	
	入山 クラインガルテン	7	畑 80～100 m <sup>2</sup> 冬期間利用不可		
計		191			

(2) 利用率

95.7% (9割以上が県外者)

## 24 森林造成事業

森林は、木材等生産物の供給、国土や自然・生活環境の保全、水源のかん養など、多面的な機能を有しており、安全で快適な市民生活を実現する上で重要な役割を果たしています。

森林のもつ機能を十分維持できるように、間伐や植栽を進め、森林を健全な姿で次世代に引き継ぐことを目指します。

(単位：ha)

年度	造林 (ha)	下刈 (ha)	除伐 (ha)	間伐 (ha)	搬出間伐 (ha)	更新伐 (ha)	枝打他 (ha)	作業道 (m)	合計 (ha)
27	3.33	15.29	2.49	72.05	61.28	21.36	6.38	6,629	180.18
28	1.55	11.28	2.69	50.74	47.66	21.57	2.83	13,589	138.32
29	2.76	4.33	0	38.94	19.69	26.79	1.79	5,527	94.3

松本市森林資源の現況

(単位：ha)

森 林 面 積					
78,530 (松本市地域総面積の 80%)					
民 有 林			国 有 林		
38,281 (49%)			40,249 (51%)		
針葉樹	広葉樹	未立木等	針葉樹	広葉樹	その他
22,615 (59%)	14,833 (39%)	833 (2%)	23,323 (58%)	11,971 (30%)	4,952 (12%)

## 25 松くい虫対策事業

松くい虫被害は、東山部から河西部、更には市街地に至るまで、安曇地区、奈川地区を除く市内全域に拡大しています。

しかし、全ての被害木を処理することは、作業的、財政的に難しいことから、平成 24 年度に策定した「松本市松くい虫被害対策基本方針」に基づき、守るべき松林での伐倒処理・薬剤散布、周辺松林での更新伐、その他個人の松を守るための樹幹注入剤補助の実施に合わせた講習等、松林の区分に応じた対策を進めています。

特に四賀地区では、無人ヘリによる薬剤散布（47ha）や更新伐事業、岡田地区では更新伐事業を実施しております。また、入山辺地区においては、新たに設置された被害対策協議会と協議しながら、各地区に応じた対策を進めています。

被害状況

年度	27	28	29
処理本数（本）	3,323	2,671	2,659
事業費（千円）	102,190	95,296	95,306

## 26 市民の森整備事業

岡田地区の「芥子坊主山」一帯の森林を、里山とふれあい、山づくりを体験しながら次世代に引き継いでいくことを目的に、市民協働で造る「市民の森」として整備を進めています。

主体 芥子坊主山・市民の森整備推進協議会

場所 岡田 芥子坊主山

開設 平成 20 年

面積 11ha（岡田財産区 9ha、個人 2ha）

## 27 林道整備事業

### (1) 目的

森林整備の効率化と森林の有する多面的機能を十分に発揮させることを目的に、高性能林業機械による効率的な間伐材の搬出が可能な林道網の整備を推進するものです。

### (2) 経過及び計画

#### ア 農山漁村地域整備交付金事業

路線名	種別	延長(m)	幅員(m)	事業費(千円)	事業年度
高遠線	開設	7,397	4.0	792,600	8～33
美ヶ原線	改良	2,527	4.0～7.0	220,890	19～33
奈川安曇線	改良	3,518	4.6～6.0	871,843	17～34
湯ノ原線	改良	432	4.0	95,790	26～30

イ 橋りょう延命化事業

路線名	種別	延長(m)	幅員(m)	事業費(千円)	事業年度
白樺橋(奈川安曇線)	改良	60	4.6	74,353	23~34

ウ トンネル延命化事業

路線名	種別	延長(m)	幅員(m)	事業費(千円)	事業年度
蛭窪トンネル(奈川安曇線)	改良	336	5.4	255,510	25~33

エ 県単林道事業

路線名	種別	延長(m)	幅員(m)	事業費(千円)	事業年度
奈川安曇線	改良	1,202	4.6~6.0	149,383	17~34

## 28 親子農業体験教室

親子の共同作業により、「自然とのふれあい」や「収穫の喜び」を感じ、広く学ぶことを通じて農業への理解を深め、農業の応援団となってもらうことを目的として、平成22年度から親子農業体験教室を実施しています。

平成29年度実施状況：市内2カ所で開設 体験親子34組

## 29 農林業関係施設一覧

(1) 集会施設

施設名	所在地	施設の概要・規模等	所管課
新村多目的研修センター	新村 2179-1	鉄骨2階建延 430 m <sup>2</sup>	農政課
赤怒田多目的集会施設	赤怒田 890-1	木造平屋 203 m <sup>2</sup>	農政課
金井多目的集会施設	中川 1821-3	木造平屋 156 m <sup>2</sup>	農政課
井刈地区多目的集会所	五常 7655	木造平屋 156 m <sup>2</sup>	農政課
取出地区多目的集会所	取出 571	木造平屋 178 m <sup>2</sup>	農政課
婦人若者等活動促進施設	刈谷原町 496	木造平屋 253 m <sup>2</sup>	農政課
今井農村環境改善センター	今井 2231-1	鉄骨2階建 1,122 m <sup>2</sup>	耕地林務課
笹賀農村環境改善センター	笹賀 2929	鉄骨2階建 1,322 m <sup>2</sup>	耕地林務課
安曇後継者集会施設	安曇 711-22	木造平屋 49 m <sup>2</sup>	西部農林課
安曇基幹集落センター	安曇 2741-1	鉄骨2階建 774 m <sup>2</sup>	西部農林課

(2) 農村広場、農村公園及び森林公園

施設名	所在地	施設の概要・規模等	所管課
新村農村広場	新村 1900	敷地面積 10,000 m <sup>2</sup>	農政課
神林農村広場	神林 1440-1	敷地面積 11,233 m <sup>2</sup>	農政課
稲倉ふれあい広場	稲倉 8074-1	敷地面積 8,000 m <sup>2</sup>	農政課
芥子坊主農村公園	岡田町 868-2	敷地面積 12,761 m <sup>2</sup>	農政課
田溝池農村公園	岡田下岡田 1454-1	敷地面積 6,180 m <sup>2</sup>	農政課
穴沢運動公園	取出 121	敷地面積 17,437 m <sup>2</sup>	農政課

反町農村公園	反町 433-3	敷地面積 1,606 m <sup>2</sup>	農政課
新村農村公園	新村 3360	敷地面積 2,170 m <sup>2</sup>	耕地林務課
笹賀第1農村公園	笹賀 3497-2	敷地面積 900 m <sup>2</sup>	耕地林務課
笹賀第2農村公園	笹賀 2083-1	敷地面積 1,120 m <sup>2</sup>	耕地林務課
神林農村公園	神林 694	敷地面積 800 m <sup>2</sup>	耕地林務課
今井第1農村公園	今井 2879-イ	敷地面積 400 m <sup>2</sup>	耕地林務課
今井第2農村公園	今井 2263	敷地面積 300 m <sup>2</sup>	耕地林務課
今井第3農村公園	今井 5984-1	敷地面積 1,250 m <sup>2</sup>	耕地林務課
島内農村公園	島内 8228-1	敷地面積 1,623 m <sup>2</sup>	耕地林務課
白川農村公園	寿豊丘 117-6	敷地面積 5,990 m <sup>2</sup>	耕地林務課
中山農村公園	中山 6668-ハ	敷地面積 2,099 m <sup>2</sup>	耕地林務課
岡田慶弘寺農村公園	岡田伊深 1175-1	敷地面積 2,209 m <sup>2</sup>	耕地林務課
岡田町農村公園	岡田町 295	敷地面積 297 m <sup>2</sup>	耕地林務課
里山辺林農村公園	里山辺 4571-1	敷地面積 1,169 m <sup>2</sup>	耕地林務課
しがビューティフルパーク	会田 3299	敷地面積 140,124 m <sup>2</sup>	耕地林務課
ふるさと公園しが	会田 1046	敷地面積 5,346 m <sup>2</sup>	耕地林務課
千鹿頭山森林公園	里山辺・神田	敷地面積 86,700 m <sup>2</sup>	耕地林務課
安曇屋内交流広場	安曇 2766-2	鉄骨平屋 483 m <sup>2</sup>	西部農林課
小原農村公園	奈川 2124-1	敷地面積 5,268 m <sup>2</sup>	西部農林課
立田農村公園	梓川梓 2348-1	敷地面積 3,048 m <sup>2</sup>	西部農林課
下角農村公園	梓川梓 393	敷地面積 1,160 m <sup>2</sup>	西部農林課
氷室農村公園	梓川倭 2806-10	敷地面積 1,019 m <sup>2</sup>	西部農林課
花見農村公園	梓川上野 648-3	敷地面積 1,261 m <sup>2</sup>	西部農林課
上大妻農村公園	梓川倭 4204-3	敷地面積 2,100 m <sup>2</sup>	西部農林課
田屋農村公園	梓川上野 3469-23	敷地面積 6,250 m <sup>2</sup>	西部農林課
大久保農村公園	梓川梓 3454	敷地面積 4,042 m <sup>2</sup>	西部農林課
波田下新田農村公園	波田 6589-1	敷地面積 1,098 m <sup>2</sup>	西部農林課
八景山マレットゴルフ場	梓川上野 853-1	敷地面積 8,604 m <sup>2</sup>	西部農林課

(3) 体験交流施設及び研修宿泊施設

施設名	所在地	施設の概要・規模等	所管課
農林漁業体験実習館	岡田下岡田 1456-2	木造平屋 200 m <sup>2</sup>	農政課
坊主山ラインガルテン	取出 481-1	総面積 28,522 m <sup>2</sup> 53 区画	農政課
緑ヶ丘ラインガルテン	中川 1747-1	総面積 33,828 m <sup>2</sup> 78 区画	農政課
錦部農村共同作業施設	保福寺町 81-4	鉄骨平屋 386 m <sup>2</sup>	農政課
会田農村共同作業施設	会田 3912-2	鉄骨平屋 248 m <sup>2</sup>	農政課
美鈴湖もりの国	三才山 1871	オートキャンプ場 マレットゴルフ場 9 ホール	耕地林務課
四賀農作業準備休憩施設	会田 3012-1	鉄骨平屋 150 m <sup>2</sup>	耕地林務課
四賀環境学習の森	中川 1915-1	交流促進センター、林間広場、コテージ 3 棟	耕地林務課
奈川新規就農者技術習得管理施設	奈川 2268-1	木造 2 階 138 m <sup>2</sup>	西部農林課
奈川林業者研修宿泊施設	奈川 2118-2	木造平屋 237 m <sup>2</sup> (3 棟)	西部農林課
大原ラインガルテン	奈川 2213-29	総面積 32,872 m <sup>2</sup> 35 区画	西部農林課

神谷ラインガルテン	奈川 576-1	総面積 13,441 m <sup>2</sup> 18 区画	西部農林課
入山ラインガルテン	奈川 4678-1	総面積 18,019 m <sup>2</sup> 7 区画	西部農林課
奈川高齢者活動拠点施設	奈川 2017-2	木造平屋 189 m <sup>2</sup>	西部農林課

(4) 農産物加工直売施設

施設名	所在地	施設の概要・規模等	所管課
四賀地域資源利活用施設	七嵐 120-2	木造平屋 124 m <sup>2</sup>	農政課
四賀地域食材供給施設	反町 26-1	木造平屋 194 m <sup>2</sup>	農政課
今井農産物直売施設	今井 886-2	鉄骨平屋 1,833 m <sup>2</sup>	農政課
安曇番所農産物加工販売施設	安曇 3972-2	木造平屋 116 m <sup>2</sup>	西部農林課
安曇稲核農産物加工販売施設	安曇 3358-1	木造一部 RC 平屋 414 m <sup>2</sup>	西部農林課
安曇島々農産物加工販売施設	安曇 745-1	鉄骨平屋 259 m <sup>2</sup>	西部農林課
グレンパークさわんど	安曇 4144-17	鉄骨 2 階建 延 745 m <sup>2</sup>	西部農林課
安曇風穴の里	安曇 3528-1	鉄骨平屋等 延 1,261 m <sup>2</sup>	西部農林課
ながわ山彩館	奈川 2120-1	木造平屋 585 m <sup>2</sup>	西部農林課
梓川農産物処理加工施設	梓川梓 4764-2	鉄骨平屋 198 m <sup>2</sup>	西部農林課
梓川水田農産物処理加工施設	梓川倭 4175-1	鉄骨平屋 404 m <sup>2</sup>	西部農林課
梓川地場産品直売センター	梓川倭 2102-1	敷地 1,306 m <sup>2</sup> 木造平屋 137 m <sup>2</sup>	西部農林課
波田農産物加工販売施設	波田 8501-1	木造平屋 328 m <sup>2</sup>	西部農林課
奈川農産物貯蔵施設	奈川 2395-1	木造平屋 36 m <sup>2</sup>	西部農林課
奈川農機具倉庫	奈川 2554-10	木造平屋 75 m <sup>2</sup>	西部農林課

(5) 林業施設

施設名	所在地	施設の概要・規模等	所管課
林業センター	入山辺 4763-1	木造平屋 174 m <sup>2</sup>	耕地林務課
五常集落生活環境施設	五常 6897-1	木造平屋 238 m <sup>2</sup>	耕地林務課
林業者等健康増進管理集会施設	会田 2912	木造平屋 344 m <sup>2</sup>	耕地林務課

(6) 排水処理施設

施設名	所在地	施設の概要・規模等	所管課
寿赤木農業集落排水処理施設	寿小赤 1335	処理施設 800 m <sup>2</sup> 中継ポンプ 1 基 管路施設 L=4,836m	耕地林務課
大野田農業集落排水処理施設	安曇 245-1	処理施設 1,096 m <sup>2</sup> 管路施設 L=2,257 m <sup>2</sup>	西部農林課
島々農業集落排水処理施設	安曇 720-1	処理施設 1,040 m <sup>2</sup> 中継ポンプ 3 基 管路施設 L=3,066m	西部農林課
稲核農業集落排水処理施設	安曇 2403-3	処理施設 1,471 m <sup>2</sup> 中継ポンプ 2 基 管路施設 L=2,018m	西部農林課
野沢小規模集合排水処理施設	安曇 609-4	70 人槽 中継ポンプ 管路施設 L=139m	西部農林課

(7) その他施設

施設名	所在地	施設の概要・規模等	所管課
四賀有機センター	中川 2184-127	建物面積 5,420 m <sup>2</sup> 処理能力 40.5 t / 日	農政課
木曾馬牧場	奈川 1173-10	敷地 337,822 m <sup>2</sup> 木造平屋 106 m <sup>2</sup>	西部農林課

## 30 農業委員会

### (1) 農業委員会

農業委員会は、農地法などにに基づき、農地の権利移動や農地の確保・有効利用と担い手の確保・育成を中心とした地域の農業振興のための業務その他を実施しています。

近年は、特に、構造政策を推進するため、農地の流動化による農業経営の確立と農業者年金の充実、農業後継者対策、耕作放棄地解消対策等農業・農村の活性化に努めています。

### (2) 農業委員会及び農業委員会の部会構成

農 業 委 員	選挙による委員	定数（人）		40	
		現在委員の一般選挙年月日		H27. 7. 9	
		任期満了年月日		H30. 8. 8	
農 業 委 員	選任による委員	農業協同組合・農業共済組合・土地改良区推薦（人）		5	
		議会推薦（人）		4	
部 会 構 成	選出区分	公選委員（人）	選任委員（人）		計
	部会名		農協等推薦	議会推薦	
	農地部会	15	3	2	20
	農業振興部会	24	2	2	28
	計	39	5	4	48

### (3) 農地の移動処理状況

農地を農地として売買 又は賃借するもの (農地法第3条)		自分の農地をかい廃 するもの (農地法第4条)		農地をかい廃する目的で 売買又は賃借するもの (農地法第5条)		農地賃借の解約 (農地法第18条)	
件数	面積(ha)	件数	面積	件数	面積(ha)	件数	面積(ha)
42	4.62	74	2.91	224	16.60	163	46.36

## 31 農業協同組合

組 合 名	組合員数（人）	組合員戸数（戸）	出資金（千円）
松本ハイランド農業協同組合	32,718 (23,131)	23,278 (16,305)	6,213,920,000 (3,848,985,000)
松本市農業協同組合	2,334 (2,222)	1,519 (1,325)	601,005,000 (581,525,000)
あづみ農業協同組合	16,160 (3,086)	11,246 (2,095)	4,238,550,000 (1,177,343,000)

注（ ）は、松本市管内の数値です。

### 32 森林組合

組 合 名	組合員 (人)	組合員所有森林面積 (ha)	出資金 (千円)	職員数 (労務作業員含む) (人)
松本広域森林組合	10,131	60,445	122,314	83

### 33 公設地方卸売市場の概要

- (1) 名 称 松本市公設地方卸売市場
- (2) 計画編入 第4次長野県卸売市場整備計画 昭和61年8月
- (3) 取扱商品 青果、水産、食肉、花き
- (4) 供給圏 第10次長野県卸売市場整備計画(平成29年3月)において県全域を1つの流通圏としたうえで、地域拠点市場と位置づけ
- (5) 入場業者 青果卸売業者2社 水産卸売業者2社 花き卸売業者1社  
青果仲卸業者8社 水産仲卸業者3社  
関連事業者等41社 1団体
- (6) 業務開始 平成元年10月23日
- (7) 事業費 約103億円(土地・建物) うち国庫補助 約16億円、県費補助 約8億円
- (8) 取扱高

区分		年度		
		27	28	29
青果	数量(t)	83,540	83,683	80,477
	金額(千円)	20,303,684	21,155,429	20,080,633
水産・食肉	数量(t)	36,913	35,615	32,219
	金額(千円)	16,472,946	16,348,521	15,752,161
花き	数量(千本鉢)	8,847	8,735	9,142
	金額(千円)	789,433	838,252	851,320

### 34 行政事務組合

組合名	共同処理する事務	執行機関	議会等	事務所
安曇野市 ・松本市 山林組合	山林の管理・経営 217 筆 2,931,888.6 m <sup>2</sup>	管理者 安曇野市長 副管理者 松本市長 安曇野市副市長 会計管理者 安曇野市会計管理者	議員総数 11 人 安曇野市 7 人 豊科 6 人 明科 1 人 松本市 4 人 島内 2 人 岡田 2 人 監査委員 2 人 議会選出 1 人 有識者 1 人	安曇野市 豊科 6000 番地 安曇野市役所内
安曇野・ 松本行政 事務組合	広域 23 排水路の維 持管理 L=56,839m 排水管理施設 90 ヲ所(水門等) 関係土地改良区数 8 土地改良区	組合長 安曇野市長 副組合長 松本市長 会計管理者 安曇野市会計管理者	議員総数 5 人 安曇野市 4 人 豊科 1 人 三郷 1 人 穂高 1 人 堀金 1 人 松本市 1 人 梓川 1 人 監査委員 2 人 議会選出 1 人 有識者 1 人	安曇野市 堀金烏川 3187-1 安曇野地区広域 排水事業所内